

読者のページ
郵便くしまにあ



このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

串間は第二のふるさと

●佳鳳さん

父が亡くなって3回目の夏がきました。父はこの串間の地で30年以上も仕事をし、串間をこよなく愛した1人です。縁あってわたしも数年前から串間に住んでいます。父の思い出がたくさん詰まったこの場所を、時間の許す限りいろんな場所に足を運び、いろんな方と話をさせていただいています。

串間の方たちは、みんな温かい心を持った方ばかりで、本当に心が和みます。

先日、偶然にも父のことを知っているという方に会い、話をさせていただきました。仕事場での父のことを聞くことができ、改めて父が頑張っていたということへの喜びなど、いろんな思いが心を駆け巡り、こみ上げてくる涙を止めることができました。

我が家に来て8年になる金魚さん。もう成魚になっていると思うが、赤ちゃんができる気配はない。興味ありだが残念。それにしても、毎日そうめんをおいしそうに食べてくれるので、金魚さんたちは可愛い。

露店の金魚すくい、夏の風物詩ですね。僕も子どもころ何度か挑戦した記憶があります。ですが、家に持って帰っても長く育てることができた記憶は残念ながらほとんどありません。8年というと、金魚にとってはなかなかの高齢になるのではないのでしょうか。これからも末長くかわいがってあげてください。

料理上手な人になりたい

●のりかのお母さん

エシャロットのコーナー見ました。わたしも昨年と今年、らっきょうを作っています。

最初はプランターで始まりました。今年は空き地に少し多く植えることができました。らっきょうはらっきょう酢で漬けることしか知りませんでした。いろいろな人たち、皆さんのおかげでたくさんらっきょうレシピを教えてください、自分でつくったららっきょうを楽しんで食べています。来年のために、また植

んでした。

父にとってもわたしにとっても、串間は第二のふるさとと言っても過言ではありません。

串間を愛したお父さんの思い出をたどるとするのは、貴重なことだと思います。また、亡くなられた後に新しい発見があるというのも、とてもすてきなことだと思います。佳鳳さんもお父さんと同様に、この串間を気に入っていただけたら幸いに思います。

市民病院のみなさん
お世話になりました

●草花ちゃん

毎月広報くしま楽しみにしています。裏表紙のワンポイント写真、7月分はアジサイでしたが、ピワの写真に引き続き、2

えておきたいと思っています。今年よりたくさん料理法を、図書館に行き本を借りて、マイノートにたくさんメモしておきます。少しでも料理上手な人になりたいと思います。

らっきょうと言えば酢漬けか、生らっきょうを酢味噌で食べるくらいしか、僕も知りませんが、ほかにもいろんな食べ方があるのでしようね。いろんな食材をいろんな調理法で食べてみるのも勉強になるし、新しい発見もあるかもしれませんね。

思い出の都井岬

●松本力オリスん

広報くしま8月号「読者のページ」、N・Sさんの「変わりゆく串間」を拝読して、都井岬観光ホテルが閉館したことを知り、びっくりとさみしい気持ちの一人です。

福岡に住み、遠い昔の思い出ですが、主人と灯台下で写真を撮ったこと、野生馬が四季折々の中で育まれるその風景は実に美しい。道路には時々サルが顔を出し見送ってくれたり、帰りに観光ホテルでお土産を買い求めたりと、楽しんだ遠い昔…。岬の駅ができてひと安心。PRや品物をどんどん紹介して

枚目のしおりを作りました。とても重宝しています。

わたし、ちよつとしたことで市民病院に入院、手術することとなり、昔の病院とは想像もつかない市民病院にびっくりしました。朝7時ころには回診、午後からの回診も6時〜7時と先生の身体を心配してしまうほどのハードスケジュールをこなしていらっしゃる整形外科の先生、本当にありがとうございます。看護師さんたちも気さくに話を聞いてくださり、うれしく思いました。お世話になりました。体に気をつけて、頑張ってください。

広報紙の裏表紙がそのような形で役立っているとは、思いもありませんでした。ありがとうございます。手術後の経過はいかがなでしょうか。草花ちゃんさんもお体にはお気をつけたいと思います。

お客さんが来るよう、応援しています。



松本力オリスんから、御崎馬の水彩画が書かれたお便りをいただきました。残念ながら都井岬観光ホテルは閉館してしまいました。都井岬をはじめ、地元の方々やたくさんの方々が都井岬を盛り上げようと、一生懸命頑張っています。松本さん、これからも応援よろしくお願ひします！

「広報くしま」では皆さんからのお便りをお待ちしています。楽しかったこと、悲しかったこと、何でも結構ですので、どしどしお便りをお寄せください。表紙のご夫婦や、スローフード・スローライフコーナーに出ただけの方、随想コーナーに寄稿していただける方も御持ちしています。自薦・他薦は問いませんので、どしどしご連絡ください。お待ちしております。

言葉と気持に感動しました

●ミッチーさん

6月25日、わたしの38回目の誕生日に、人生のいい出来事がありました。その日は強い雨が降ったりやんだりの日でした。5歳の長女と夕方、四季彩館ほりぐち本店に買い物に行った時のことです。ちょうど着いた時、雨がやんでいたのでカサを持たずに店内に入りました。買い物を終え車に戻ろうとした時に大雨が降り始めました。

長女と2人、雨が小降りになるのを待っていると、近くにいた60歳後半くらいの奥さまが市のごみ袋(店で買ったばかりの物)を取り出し、防空頭巾の形を作り、わたしと娘に「これがかぶっていきなさい」と言われたのです。わたしは「もったいないから、大丈夫です」と断りました。そうしたらその奥さまが「子どもが濡れたらたいへん。もったいないはこういう時に使う言葉ではないのよ」と教えてくれました。

わたしは、ものすごくそのお言葉とお気持ちに感動しました。そして防空頭巾の形になったご

み袋をいただき、娘と2人さほど濡れずに車に戻ることができました。あの時の奥さま、本当にありがとうございました。

ごみ袋を渡された奥さまの言葉には、これからの串間を担う子どもたちへの思いやりや優しさ、いっぱい詰まっているように感じますね。なかなかできること、言えることではありません。ミッチーさんのお便りを読んで、自分もこんなすてきな大人にならなければ、と痛切に感じました。

金魚はそうめんが好き

●百野達夫さん

梅雨がようやく明けて、初夏の空がまぶしく感じられるようになった。子どもたちが待ち遠しかったプールや海などでの水浴びシーズン到来。夏まつりも開催されて金魚屋さんも露天に現れよう。

孫たちが小学生の時、仲町のあたご祭で金魚すくいに挑戦し6匹を獲得した。持ち帰って金魚は雨だれ用タンクに入れた。以後、餌はそうめんばかり。すくった孫たちは大学生となり県外にいたので、金魚の世話はわたしがやっていた。

市民憲章

- わたしたちは、
1. 豊かな自然を大切に、これをいかしましょう。
 1. お互いを信じ、心をあわせ、平和で明るいまちをつくりましょう。
 1. 健康で働くことに誇りを持ち、豊かな住みよいまちをつくりましょう。
 1. だれにも親切にし老人をいたわり、子どもに夢と、しあわせをあたえましょう。
 1. 教養を高め文化のまちをつくりましょう。

●市の木/そてつ ●市の花/かんな
●市の鳥/めじろ ●市の花木/山桜
●人口 20,394人 (前月比 -28)
男 9,338人 女 11,056人
世帯数 8,759世帯
(平成22年8月1日現在)

おたより待っています

◎この広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、医療講座に関する質問、串間市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。

↓点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)